

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: **TOSHIBA**

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



オペラのように壮大なドラマ、 エッティンガーの マーラー

ダン・エッティンガーが初めて日本に招かれ、新国立劇場のピットで東京フィルハーモニー交響楽団を指揮した時はまだベルリン国立歌劇場で、ダニエル・バレンボイムのアシスタントだった。やがてマンハイム歌劇場音楽総監督(GMD)となり、世界の一流歌劇場にも客演。来年はいよいよザルツブルク音楽祭にデビュー、モーツァルトの「フィガロの結婚」を指揮する。2010年から常任指揮者を務める東京フィルと「ミューザの夏」に現れ、前半に演奏したのもモー

8月5日(火) 東京フィルハーモニー交響楽団 撮影: 青柳聡
ツァルトの「ピアノ協奏曲ニ短調K.466」。ヴァイオリンを左右に分ける対向配置や控えめなヴィブラートなど、この時代の音楽に対する確かな様式感を示しつつも、エキセントリックにはならない。独奏の菊池洋子の音は透明で芯があり明快だが、つねに音楽がしっとり潤い、必要以上の暗さは意識的に避けていた。第3楽章のリズムの刻みも新鮮だ。後半はマーラーの「交響曲第5番」。冒頭のトランペット、第3楽章のホルンをはじめ、管楽器のソロは巧みだった。弦楽器もコン

サートマスター荒井英治の積極的なリードで厚み、色彩感がある。エッティンガーは「オペラ指揮者」という作曲者との共通点に立ち、それぞれの声部をオペラの登場人物のようにくっきり描き分け、緩急の幅を自在にとり、旋律を大きく歌わせる。マーラー=ペシミズム(厭世主義)の俗説に背を向け、壮大な人生肯定のドラマとして描き切った。

音楽ジャーナリスト 池田卓夫



終演後、マエストロ・エッティンガーとソリストの菊池洋子さん

終演後、笑顔でサインをいただきました♪

10years is only the beginning of many more years to come full of beautiful music making (Dan Ettinger)

8/7 東京フィル

お客様の声から♪

大学生になって初のプロオケ、しかもミューザ!!とても幸せな時間でした♪(18歳・学生・ほしろう) / ○歳の誕生日が充実したものになりました。(会社員・いぬ) / かれんなモーツァルトとやんちゃ坊主のマーラー。真夏の夜の熱いコンサート。(juni) / 美しすぎるビーナス菊池さんのモーツァルトは今まで口にしたことのないスイーツを頂いたような幸福感(主婦) / 毎年来ていますがいつも以上にもえあがっていました(10歳・かんたーびれ) / 金管が冴え渡り、4楽章も美しかった。満足。(匿名)

女子レポ!
女子クラ部 & 12 Violinists

凛と表情豊かなピアノの音色が美しかったモーツァルト。後半のマーラーは激情の合間で現れた4楽章アダージェットに会場中が心を奪われて聴き入っていました。繊細さから壮大さまでしっかり味わえる贅沢なプログラムでした! 記念撮影はショップの可愛い人気バッグと♪ by 藤崎美乃 (12人のヴァイオリニスト)



ハーブ弾きの私にはたまらないマラ5!これぞ天上の響き!ついに人生初「ブラボー」叫んでしまいました♪それからヴィオラトップの方の全身が楽器のような堂々とした弾き方に見とれました。すっかりファンです。

by ムッキー (女子クラ部レポーター)



レビュー協力: 女子クラ部 / <http://www.joshicla.com> 12人のヴァイオリニスト / <http://www.j-two.co.jp/c-ensemble/>

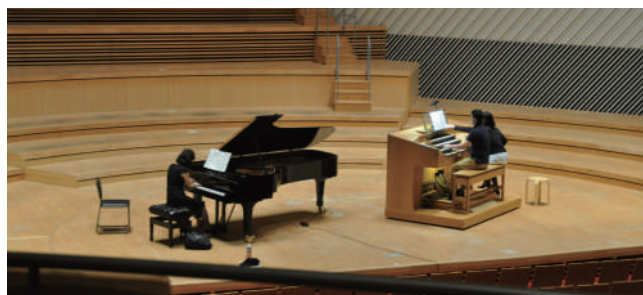
ミュージアが誇る パイプオルガンのお・は・な・し



ミュージアが誇る、パイプ数5,248本もの大オルガン。幸いなことに東日本大震災の被害を受けず、無事でした。今日はこのオルガンにまつわる小話をしたいと思います。

まずパイプオルガンには、主演奏台(メイン・コンソール)のほか、移動演奏台(リモート・コンソール)があります。この移動演奏台によって、パイプオルガンを舞台上でも演奏することが可能になります。

オルガンの公演では、曲ごとに両者を使い分ける場合があります。たとえば、最初の曲では主演奏台(以下、メイン)、次の曲では移動演奏台(以下、リモート)を使う場合です。このとき、リモートの音を出すには、①メインの電源を切り、②リ



モートの電源を入れます。もしメインの電源OFFを忘れると、リモートの音が鳴らないので大変なことに…。そのため、本番前の出演者との進行確認のときには、出入りの確認と同時に、誰がどのタイミングで電源をON・OFFにするのかという細かい打ち合わせも行います。

ミュージアでは、オルガニストのアシスタントさんが電源のON・OFFを担当し、何かあった場合に備えて、スタッフがいつ

でもオルガンのもとへ駆けつけられるようにスタンバイしています。

この瞬間はスタッフも少々緊張気味ですが、うまくいくとほっと一息。このようにスタッフ一同、ちょっとしたことでも出演者の方々に負担をかけないよう、「丁寧に、そして慎重に。」を心がけながら日々業務に当たっています。(写真左:メイン・コンソール、写真右上:ピアノとリモート・コンソール)

パートナーショップのご紹介
エンジョイ! 川崎!!
Enjoy Kawasaki

炭火串焼き・十割そば 鳥元
ミュージア川崎 1階
総合プログラムP.95
パートナーショップガイド P.3



昼時はいつも混んでいる鳥元(とりげん)。サバの味噌煮定食やそば類もおいしいけれど、ガッツリ食べたい私のお勧めは「伊達鶏きじ丼」(850円)。備長炭で焼いた伊達鶏が味噌ダレにからまって丼を埋め尽くした豪快な逸品です。鶏本

来の味わいと炭火で焼いた香ばしさ、それに味噌ダレの甘辛さや山椒が良くマッチして食欲をそそり、半熟卵とおしんこ、味噌汁がアクセントとなってご飯が進みます。そして、夜はやはり串焼き。備長炭で焼き上げた焼き鳥は、柔らかでジュー

シー。ナスやアスパラ、ズッキーニなど、炭火焼きでも生でもおいしい季節の野菜もたくさん。国産の厳選素材がもつ力強い味を備え炭でじっくり引き出す技を持ったこのお店に、ぜひ足を運んでみてください。(Y)

NEXT!! フェスタサマーミュージック チケット情報

◎余裕あり ○好調です △お早めに ×完売

明日 8/8(金)
東京ニューシティ 管弦楽団
指揮: 曾我大介
15:00開演
11:30公開リハーサル
14:20プレトーク
S席/3,000円 ◎
A席/2,000円 ○

明後日 8/9(土)
出張サマーミュージア@しんゆり!
東京交響楽団
【会場: テアトロ・ジーリオ・ショウワ】
指揮: 円光寺雅彦
15:00開演
S席/4,000円 ○
A席/3,000円 △
B席/2,000円 ×

出張サマーミュージア@しんゆり!
東京交響楽団
【会場: ミューザ川崎シンフォニーホール】
指揮: 齊藤一郎
18:30開演
全席指定/1,000円 ◎

Goods muza original
2014 new model
夏新作!
今年のおススメはコレ!!
ミュージアオリジナルグッズ販売中!

●サマーミュージア チケットホルダー 640円(税込)
●トートバッグ 540円(税込)
サマーミュージアミニブックが入る! サマーミュージア期間中特設カウンターにて特別セット価格1,000円で販売中!(一部公演を除く)

友の会キャンペーン実施中

サマーミュージア期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方に素敵な特典!
オリジナルトートバッグorチケットホルダーいずれか1点をプレゼント!
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

当日の感動をすぐお届け!!
毎日 日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza
工場夜景好き ぶ

七月二十六日に始まったサマーミュージアも残り数日と少し寂しく思いつつ、お客様の笑顔や感想に励み、スタッフ一同、日々、業務に取り組んでいます! さて、皆さんはホールに入つて右側にある銀色の銘板をご覧になったことはありますか? こちらは、ミュージアの運営や事業全般を応援してくださっているホールスポンサー会員の有名な方です。川崎には音楽を愛する方々が大変多く、法人会員の担当者や個人会員の皆様とお話すると、ご自身も演奏活動をしていたり、音楽鑑賞が趣味だという方が大勢。川崎市が推進する『音楽のまち・かわさき』に賛同している。『ミュージア』が大好きで応援したい! という愛情のこもった温かい声を沢山いただいたます。そんなお気持ちに対し、感謝の意味も込めてお名前を紹介してまいりますので、入口を通る時に是非ご覧ください。ちなみに、川崎には多くの企業や工場があり、工場見学や様々なイベントを実施しているの、参加してみると面白いと思います。これからもミュージアは、川崎そして全国!、そして世界!の皆様に愛されるホールであり続けられるよう頑張つてまいります! なお、ホールスポンサーにご興味のある方は、担当までご連絡くださいませ。(笑)

スタッフ日誌
七月二十六日に始まったサマーミュージアも残り数日と少し寂しく思いつつ、お客様の笑顔や感想に励み、スタッフ一同、日々、業務に取り組んでいます! さて、皆さんはホールに入つて右側にある銀色の銘板をご覧になったことはありますか? こちらは、ミュージアの運営や事業全般を応援してくださっているホールスポンサー会員の有名な方です。川崎には音楽を愛する方々が大変多く、法人会員の担当者や個人会員の皆様とお話すると、ご自身も演奏活動をしていたり、音楽鑑賞が趣味だという方が大勢。川崎市が推進する『音楽のまち・かわさき』に賛同している。『ミュージア』が大好きで応援したい! という愛情のこもった温かい声を沢山いただいたます。そんなお気持ちに対し、感謝の意味も込めてお名前を紹介してまいりますので、入口を通る時に是非ご覧ください。ちなみに、川崎には多くの企業や工場があり、工場見学や様々なイベントを実施しているの、参加してみると面白いと思います。これからもミュージアは、川崎そして全国!、そして世界!の皆様に愛されるホールであり続けられるよう頑張つてまいります! なお、ホールスポンサーにご興味のある方は、担当までご連絡くださいませ。(笑)